

9月1日 逍遙 

# 城山の逍遙猫

すず、

のころ

ワタシの名前は、すず。猫として物心ついた頃からもう8年近く、ここ城山の麓の、西郷銅像近くの天ぷら屋さんの店先にずっと住んでいます。お店の御主人には、縁起がいい看板娘だと重宝がられていますし、近所の子ども達や通りがかりの大人にも結構な人気者。ワタシも元々人は嫌いではないので、人様がマスク顔を近づけ何事かワタシに語りかけてくれば、マイペースだけど、とりあえず大人しく聞いてあげるし、人様もひとしきり語り終わると、なんとなく満足したような風情でまた立ち上がって、街の喧騒の中に消えていくのです。最近、近くの逍遙館長さんも、そんな一人になったみたいです。

逍遙館長さんが熱く語るには、ここ城山は、鹿児島にしかない実践的な歴史ストーリーを語り伝えてくれる「屋根のない一つの大きな物語サイト」なのだとか（言い方が堅い!）。もっとも、ワタシにとっては、レディの健康づくりを叶えてくれて、そして何より、今を生きている自分をちゃんと見てくれている、そんな空気感の漂う、ホッと一息・散歩空間なだけなのですが。

次回「探勝園に建つ銅像を前にしてポーッ、のころ」

